

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	1 「生きる力」を身につけた未来を担うひとづくり
分野	11:学校教育
具体的な施策【施策】	21:幼児教育の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊本県就学前教育振興「新肥後っかがやきプラン」の周知を図り、幼稚園、保育所、家庭、地域が連携しながら就学前教育のさらなる充実に努めます。</li> <li>・ 一人一人の子どもの教育的ニーズに応じた幼児教育の推進を図り、学びの基礎を育成します。</li> <li>・ 子どもの発達段階や学びの連続性を考慮した幼稚園、保育所、小学校の連携カリキュラムを作成し、子ども同士の交流や職員同士の連携を行います。</li> </ul>

1	担当課かい名	教育部_学校教育課
	現状（進捗状況）	家庭教育学級の実施により親の学びの機会を設定して家庭の教育力の向上に努めた。また職員の研修に関しては、幼児教育アドバイザー派遣等を活用して一人一人の子供の教育的ニーズに応じた幼児教育の推進を行った。小学校との連携カリキュラムは、中学校区の連絡協議会の中で位置付けを行い実施した。また、小学校のスタートカリキュラムの内容を幼稚園へ提供する等各校区で工夫した取組がなされた。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	新型コロナウイルス感染症拡大により、小学校や保育所等との連携・交流が中止又は変更になったものがあった。
	第2期計画の方向性	新たな連携・交流の在り方を模索し、就学前教育の充実と小学校教育との円滑な接続をめざす。また、多様な教育的ニーズに対応する職員の資質・能力向上のための研修や家庭との連携の充実に取り組む。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	1「生きる力」を身につけた未来を担うひとづくり
分野	11:学校教育
具体的な施策【施策】	22:学校教育の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小中一貫・連携教育」の取組みのさらなる充実を図るとともに、家庭・地域との連携を図りながら、学校教育全体を通して、今後子どもたちに求められる資質・能力の育成に向けて取り組みます。</li> <li>・いじめ・不登校の未然防止と解消のため、子どもたちの自己肯定感を高め、認め合い支え合う集団づくりを進めるとともに、教職員への助言・支援・相談などのサポート事業の充実を図ります。</li> <li>・幼稚園、小学校、中学校における英語教育の充実を柱として、早期から段階に応じて英語に親しむ取組みの推進を図ります。</li> <li>・学びの環境づくり、分かる授業づくりに努め、学力向上を図ります。</li> <li>・学校図書館については、蔵書の整備など、魅力ある図書館づくりに取り組み、子どもたちの活発な読書活動や学習・指導場面の利活用を進めます。</li> <li>・特別な教育的配慮を要する子どもたちに必要な「合理的配慮の提供」を行うために、教職員の専門性を高める研修の充実を図るとともに、特別支援教育アドバイザーを配置するなど、特別支援教育の振興に努めます。</li> <li>・防災教育の充実や実践的な避難訓練などの実施により、自ら安全な行動がとれる子どもを育成し、学校防災マニュアルの作成・見直しを行い、地域全体の危機管理意識の向上を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	市民環境部_市民活動政策課
	現状（進捗状況）	八代市の私立高校2校・私立幼稚園3園・高校定時制通信制教育振興会へ必要な補助金を交付したことで、運営に係る一部を支援した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	補助金額等の検討。
	第2期計画の方向性	市民サービスの充実を目的に効果的な支援を行うため、本市の教育の振興を図るうえでの重要性及び公益性の高さを判断し、対象団体への支出の必要性を含めた補助金額等についての検討を行う。
備考・コメント		

2	担当課かい名	教育部_教育政策課
	現状（進捗状況）	<p>（基金の創設・寄附の募集）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年7月 八代市の教育振興のために1千万円の寄附金の遺贈がある。</li> <li>・平成30年3月 3月議会において関係条例及び補正予算案件の議決。基金を創設に、寄附金を基金に積み立てる。</li> <li>・平成30年8月 基金の周知及び寄附募集のためのパンフレットを「やつしろの風」に同封、各コミュニティセンター窓口を設置。10月からはFacebookとTwitterにも基金募集について掲載。</li> </ul> <p>（以後、通年寄附を募り、基金に積み立てている）</p> <p>（事業の実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度から、①子どもの学力向上に関する事業、②いじめ・不登校対策に関する事業、③特別支援教育等に関する事業に、基金繰入金を毎年150万円程度充当し事業に活用。</li> <li>・例年8月の各学校・園に、9月に教育委員会の各課かいに基金を活用した次年度事業の実施について要望調査を行い、10月に予算要求案を作成。3月にその年度の実績報告を学校・園・教育委員会の各課かいに依頼。</li> <li>・寄附額と実績額をもとに、基金の積み立て・取り崩しを行う。</li> <li>・毎年度、基金を活用した事業の内容や決算額については、教育委員会に報告。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基金の周知・広報活動を強化しているが、寄附受付件数は増加したものの寄附額の増にはつながらず、将来的には基金が枯渇し事業が実施不能になる可能性がある。</li> <li>・事業実施に伴い、学校や関係部署に対し希望調査や実績報告の提出などを求めるため、一連の事務に時間を要する。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会の定例会で本事業に関する説明をさせてもらうなど広報活動を行い、事業の認知度向上に努め、結果、寄附増につながるよう取り組んでいく。</li> <li>・基金を活用した事業の選定等の事務の簡素化を図る。</li> </ul>
備考・コメント		

3	担当課かい名	教育部_学校教育課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小中一貫・連携教育」については、各中学校区で工夫した取組みがなされた。いじめ・不登校の未然防止と解消については、QUテストの結果を基に、各中学校で子どもたちの自己肯定感を高め、認め合い支え合う集団づくりを実践している。英語教育の充実については、ALTの計画的な派遣を行った。</li> <li>・全学校・園に「マイタイムライン」の作成マニュアルを配付し、活用するよう周知を行った。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、さらに工夫改善した取組による小中・一貫連携教育の推進を進めていきたい。</li> <li>・コロナ禍によりALTが人員減少し、各学校・園への派遣回数が減少することが想定される。</li> <li>・学校・園に滞在している際の避難や対応については、訓練を行っているが、家にいる時など、どこにいても対応ができる子供を育成する必要がある。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫・連携教育の更に充実させていく。</li> <li>・学級の間関係及び子どもたちの個性や背景等の情報を可視化するための質問紙調査「i-check」を、学級経営や総合的な子ども理解に活用することで、いじめ・不登校の未然防止と解消に努める。</li> <li>・不登校の未然防止対策として、熊本県八代教育事務所及び氷川町教育委員会と八代市教育委員会が連携し、決定した共通実践事項を取り組むことにより、子どもたちが楽しいと思える学校づくりを進める。</li> <li>・ALTの幼稚園派遣や小中学校におけるALTとのチーム・ティーチングによる教職員の指導力向上等、英語教育を更に充実させる。</li> <li>・全学校・園に「マイタイムライン」の作成マニュアルを配付し、活用するよう継続して周知を行っている。</li> </ul>
備考・コメント		

4	担当課かい名	教育部_教育サポートセンター
	現状（進捗状況）	学校・園の教職員の専門性を高める研修として「特別支援教育アドバンス研修会」や「トワイライトセミナー」を実施したり、特別支援教育アドバイザーによる訪問支援や相談事業、校内研修への支援事業等を実施し、各学校・園の特別支援教育の充実に向けたサポートを行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	相談件数が年々増加傾向である。1人で1日2件以上対応することが多いため、相談件数がこれ以上増えた場合は丁寧かつ柔軟に対応することができなくなることも考えられる。
	第2期計画の方向性	各学校・園のニーズに合ったサポートを計画的かつ継続的に実施できるように、継続的な相談を精選するとともに相談事業及び研修を通じて教職員の専門性の向上に継続的に取り組んでいく。
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	1 「生きる力」を身につけた未来を担うひとづくり
分野	11:学校教育
具体的な施策【施策】	23:教職員の資質・指導力の向上
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・園訪問や校内・園内の研修を進め、教職員の資質の向上を図り、組織力、授業力、保育力の向上に努めます。</li> <li>・教職員がコンピューターやタブレット端末、電子黒板などのICT機器を活用し、子どもたちの興味を引きつけ、わかりやすい授業を行えるよう、活用能力の向上に取り組みます。</li> <li>・教育的ニーズや教職経験年数に応じた研修機会の充実を図り、教職員の段階的育成を図ります。</li> <li>・教育の今日的課題を、理論と実践の両面から調査・研究する部会を設置し、成果の蓄積・発信を行い、学校などへの還元を図ります。</li> <li>・教職員の働き方改革をさらに進め、教職員の負担軽減や長時間労働の解消を図ることで、子どもたちと向き合う時間の確保を行います。</li> </ul>

1	担当課かい名	教育部_学校教育課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・園訪問を行い、教職員の授業力・保育力向上のための指導・助言を行った。小・中学校においては、授業におけるタブレット端末の活用方法についても指導・助言を行った。</li> <li>・校務支援システムを利用し、ICT教育推進校等におけるICTの効果的な活用の実践を全ての教職員に情報提供を行っている。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	・タブレット端末等のICTを授業で活用することができる教職員は増えてきているが、まだ十分に活用できていない教職員も見られる。
	第2期計画の方向性	今後も必要に応じた研修機会の充実、働き方改革の推進を図る。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	教育部_教育サポートセンター
	現状（進捗状況）	校内・園内研修推進事業やスキルアップチャレンジ教室、トワイライトセミナー、市2年目研修等、教職員の資質及び専門性の向上を図るための取組を実施した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	熊本県八代教育事務所と重なる取組（校内研修推進事業）を令和2年度まで実施していたが、熊本県八代教育事務所が事業の見直しを行ったことにより、令和3年度から校内研修推進事業等は教育サポートセンターの単独事業となった。
	第2期計画の方向性	更に進展していくことが予想されるICTに関する研修等を含め今後教職員に求められる知識・技能や教育技術等を高めるため、熊本県教育委員会等と連携しながら教職員に求められる資質及び専門性の向上を各種研修会を通して図っていく。
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	1 「生きる力」を身につけた未来を担うひとづくり
分野	11:学校教育
具体的な施策【施策】	24:教育環境の整備・充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した協働型、双方向型の授業を拡充し、わかりやすく質の高い授業を実現するための環境整備をさらに進めます。</li> <li>・「学校規模適正化基本方針」に基づき、地域特性を考慮した、望ましい教育環境の整備を図ります。</li> <li>・経済格差などが教育格差につながらないように、就園、就学などへの支援を行い、子どもたちの教育環境の安定を図ります。</li> <li>・八代の未来を担う子どもたちの学びを地域とともに支援するため、新たな基金の創設に取り組みます。</li> <li>・学校施設の非構造部材の耐震化を継続して進めます。また、計画的な老朽化・長寿命化対策、「平成28年熊本地震 八代市復旧・復興プラン」に基づく避難所機能強化、現在の社会的要請に応じた、教室へのエアコン設置やトイレの洋式化など、教育環境の質的向上に取り組みます。</li> <li>・学校給食施設整備計画の策定に取り組み、調理場の見直しや集約・再編整備を進め、学校給食の安定的・効率的な運営に努めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	教育部_教育政策課
	現状（進捗状況）	<p>&lt;ICT教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度より進めていたパソコン室端末のタブレットPC化は、令和元年度に全学校完了した。</li> <li>・また、令和2年度GIGAスクール構想により市内全ての小中支援学校の児童生徒に1人1台のタブレットを整備しタブレットを使用したICT教育を令和3年1月より開始した。</li> </ul> <p>&lt;学校給食施設管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R元年度から2年度にかけて学校給食施設の再編を含めた整備方針について検討を重ね、R2年度に学校給食施設再編整備方針の素案を作成した。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<p>&lt;ICT教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT教育推進のため、教員1人1台のタブレットPC化や特別教室への電子黒板やネット環境整備など、さらなるICT周辺機器の充実が必要となる。</li> <li>・また、双方向型となると家庭のネットワーク環境整備について、保護者の理解が必要である。</li> </ul> <p>&lt;学校給食施設管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食施設再編については方針決定の段階のため、新センターの箇所数や費用、用地等を再度精査し、児童・生徒数の推移、市内の状況等も考慮した総合的判断による再検討が必要である。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<p>&lt;ICT教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT教育を推進するために教員用タブレットPC、特別教室への電子黒板・ネット環境の整備を行うとともに、大型提示装置の更新を計画的に行っていく。</li> </ul> <p>&lt;学校給食施設管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、候補地近隣住民への説明と理解を得て、整備方針を決定し学校給食施設の老朽化や学校給食衛生管理基準への対応を図り、安全で安心な給食の提供を目指す。</li> </ul>
	備考・コメント	

2	担当課かい名	教育部_学校教育課
	現状（進捗状況）	学校規模適正化基本方針に基づき、金剛小学校敷川内分校（平成28年度末）、八千把小学校浜分校（平成29年度末）、鏡西部小学校（令和元年度末）を閉校とした。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	進行する少子化、核家族化、女性の社会進出、幼児教育・保育の無償化等により八代市立幼稚園への入園希望者が急激に減少しつつある。これを踏まえて、八代市立幼稚園の規模適正化、運営の在り方等について方向性を決定する必要がある。
	第2期計画の方向性	令和3年度中に出される予定の八代市立幼稚園規模適正化等審議会による答申を踏まえ、令和4年度中に八代市立幼稚園の在り方について基本計画を策定する。また、学校規模適正化基本計画の第2次計画の策定を行う。
	備考・コメント	

3	担当課かい名	教育部_教育施設課
	現状（進捗状況）	体育館、武道場の天井・照明器具等非構造部材の落下対策、コンクリートブロック塀の安全対策に取組み学校施設の耐震化を図った。また、長寿命化を図るための計画的な校舎屋上防水改修の実施や避難所機能の強化・充実を図るため体育館トイレや屋外トイレへの手摺設置、段差解消等のバリアフリー改修、敷地内屋外照明設置等を実施した。さらに普通教室等へのエアコン設置や小学校トイレ改修を行い教育環境の質的向上に努めた。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	学校施設は、65%以上が築30年以上を経過し老朽化が進んでいる。適切な維持管理を実施していかなければ、内外装材の落下等の安全面や設備機器等の各種機能面の不具合が生じ、重大な事故が発生する可能性が高くなる。また、多様化する教育活動への対応やバリアフリー化、トイレ環境改善、環境負荷低減のための省エネ対策等の社会的要請にも応えていく必要がある。
	第2期計画の方向性	老朽化対策、非構造部材耐震化、防災機能強化、バリアフリー化、衛生環境改善等を引き続き推進し、子どもたちが安全・安心で快適な環境で学び、生活できるよう学校施設の整備に取組んでいく。
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	1 「生きる力」を身につけた未来を担うひとづくり
分野	12:社会教育
具体的な施策【施策】	25:学校・家庭・地域の協働
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域や各種団体などが連携して、子どもを支え合う体制づくりに努め、地域全体で子どもを育てる環境を整えます。</li> <li>・地域の実情に応じ、地域の力を活かして、子どもを育む環境を整えます。</li> <li>・子どもの安全確保については、継続した取組みを行い、ハード面だけでなくソフト面での対策も強化します。</li> </ul>

1	担当課かい名	教育部_生涯学習課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動事業（実施校22校）：消毒作業、読み聞かせ、学習支援、農作業支援、まち探検、給食支援、クラブ活動等の支援を実施</li> <li>・放課後子供教室（実施校3校）：宿題補助・集団遊び・伝承遊び・パソコン教室・読み聞かせ等の支援を実施</li> <li>・地域未来塾（実施校4校）：英語、数学の学習支援、別室登校支援等を実施</li> </ul>
	施策の進捗度	S（着実に進捗している）
	課題	新型コロナウイルス感染症より学校の休校が続いたことと、地域学校協働活動についても一定期間の活動ができなかったため、一部で成果指標が達成できなかった。
	第2期計画の方向性	幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、「地域の子どもは地域で守り育てる」機運を高めていく。さらに、地域と学校がビジョンや課題、情報等を共有、熟議することで、意思を形成する場であるコミュニティ・スクール（学校運営協議会）と一体となり、地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくりを目指す。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	1「生きる力」を身につけた未来を担うひとづくり
分野	12:社会教育
具体的な施策【施策】	26:青少年健全育成
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八代市青少年指導員による取組み、非行防止と地域の意識啓発を進めます。</li> <li>・青少年の健全育成とその意識啓発を図るため、関係団体と連携し、啓発活動を進めます。</li> <li>・青少年相談員による、青少年相談（ヤングテレホンやつしろ）の効果的運用を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	市民環境部_人権政策課
	現状（進捗状況）	青少年指導員（R2：208名）による街頭指導業務は中央指導7班・地域指導15校区5支所にて実施しており、令和2年度においては合計307回の街頭指導を実施した。のべ従事数は1634名。育成業務として、主なる団体（11団体）を中心に意識啓発を図るため連携し啓発を行った。青少年相談については市内の小中高に周知カードを配布した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	青少年の人口減少や、外出率の減少等様々な要因はあるものの、日頃の地道な青少年健全育成に対する活動が、青少年の規範意識の高まりにつながり、犯罪少年や不良行為少年の減少に影響しているものと考えられる。新たな課題として、若い世代からの相談窓口としてSNS（LINE等）を利用しアクセスのし易さを工夫するなど。
	第2期計画の方向性	青少年健全育成のため、青少年指導員による街頭指導業務、青少年相談員による相談業務（ヤングテレホンやつしろ）、八代地区保護司会等各種団体と連携した“社会を明るくする運動”等の育成業務を実施する。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	